

平成29年度

ほおの木っ子

喜多方市立第二小学校 学校だより

平成29年12月8日(金) 第12号

発行責任者 校長 石田 秀喜

＜笑顔いっぱい／元気いっぱい／夢いっぱい ～やり続けて本物にしよう・こつこつがコツ！～＞

「考える^{しつけ} 躰」を・・・

例えば、算数の問題をまちがえたとき、子どもたちに、「今度からまちがわないようにするには、どうすればいい？」と聞くと、例えば次のような言葉が返ってきます。

「がんばって、何回も練習する。」「きちんとそろえて、数字を書く。」「しっかり、数える。」「気をつけるようにする。」



「がんばって」「きちんと」「しっかり」「気をつける」といった精神的な対策が多く出てきます。原因を考えたり、方策を考えたりすることよりも、気持ちをしっかりとするという答えが多く、それまで学習した計算の意味やそのきまりをもとにした考えがなかなか出てきません。

しかし、そこでハッとさせられます。「がんばって」「きちんと」「しっかり」「まじめに・真剣に」「気をつけて」という言葉を、日頃私たち自身が子どもたちに投げかけているのではないかと。

心構えや態度を育て、磨くことはもちろん大切なことです。ただ、精神的な訓話ばかりでは、物事を論理的に考え、いろいろな問題をよりよく解決するという力は育っていきません。

勉強だけでなく、毎日の生活の中でのいろいろな悩みや問題について、「どうしてか」「どうしたいか」「そのためにどうすればいいか」考える躰を、学年相応にしていきたいものです。

◆◆◆ 個別面談・授業参観 ありがとうございました ◆◆◆



子どもたち一人一人と担任との教育相談期間を終え、11/22 から5日間にわたって行われた担任と保護者の皆様との個別面談。そして、12/5に行われた授業参観と、大変お忙しい中、学校に足を運んでいただきありがとうございました。

個別面談では15分間という限られた時間ではありましたが、学習面・生活面・友達関係など、これからの学校生活を充実させ、よりよい成長に向けての有意義な話し合いが各学級でなされました。これからも、学校と保護者の皆様が信頼関係をもち、相互理解を図りながら子どもたちに関わっていきたいと考えています。これからもよろしくお願いします。(拝)

「ほめ言葉のシャワー」

本校が継続して取り組んでいることの1つに「ほめ言葉のシャワー」があります。毎日、一人一人のよいところをクラスみんなで見つけ、その日の「主人公」(輪番)が、一日の最後に教壇に上がり、クラスみんなから「ほめ言葉のシャワー」を浴びるというものです。

各家庭でも、話題にさせていただき、「主人公」になったときには、どんなほめ言葉を友達や先生からもらったかを聞いてみてください。

こうした取組を通して、自己有用感や自己肯定感を持たせていきたいと考えています。

除雪機を購入しました



市立図書館前から学校までの通学路部分及び本校敷地内の重機では届かない箇所の除雪のために、今回中古の除雪機を購入しました。

12/1のPTA運営委員会において協議をいただき、愛校基金で購入していただくこととなりました。安全かつ有効に活用させていただきます。(感謝)